

- ①神戸ビーフのふるさとといわれる「丹波篠山牛」の歴史や魅力をレポート（園田さん）
- ②市内のボランティアグループによる本の読み聞かせや、おはなし会の活動をレポート（木戸さん）
- ③昨年4月1日から業務を開始した「篠山市消防署東出張所」をレポート（成宮さん）
- ④江戸時代の面影を今に伝える建物「西尾家住宅」をレポート（山本さん）

突然、リポーターの話をいただいたときは、驚きました。前任者のようにわたしには「うまくできるのだろうか？」と不安でしたが、篠山市に何か参画できればという思いもあり、引き受けました。

最初は、「消防署東出張所の業務開始」の取材から始まり、「おこの料理教室」そして、郷土料理百選に選ばれた「ぼたん鍋」を担当しました。原稿を書くときは、好きな晩酌もその日はかりは我慢し、なるべく集中して書くようにしました。でも「文章を書くことが難しいなあ」とあらためて痛感しました。

でも、仕事の得意先の皆さんから「広報見たよ」といっていただいたときは、本当にうれしかったです。貴重な経験をありがとうございました。広報関係の皆さんには、ご苦労をおかけしましたが、無事終わることができました。心から感謝します。本当にありがとうございました。



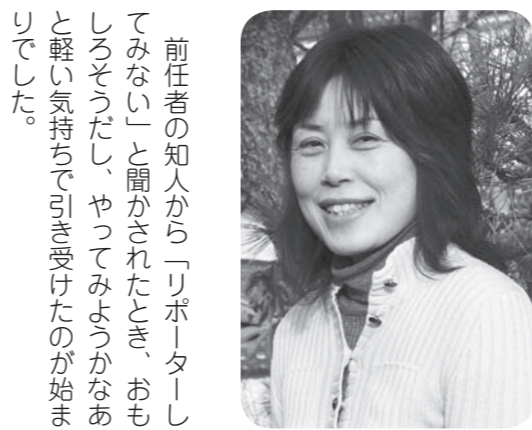
成宮正行さん（今田町下立杭）



市民の皆さんの目につかれる街かどリポーターの話をいただいたとき、それは心の弾むうれしい出来事でした。第1回目のレポートは、篠山青年会議所の皆さんによる「丹波ささやま大田動会」。ユニークな発想のイベントに、わたしは、心が浮き浮きとしたものでした。第2回目のレポートは、国の有形文化財に登録されている「西尾家住宅」。江戸時代後期に全国の俳壇でも活躍した西尾武陵の生家としても知られる歴史的な建造物を目の当たりにし、18世紀にタイムスリップしたようでした。第3回目のレポートのカントリーダンスは華やかで、楽しく取材させていただきました。

公の場に出ることが少なくなったわたしが、ひとときではありましたが社会につながらせていただき、本当にうれしく思います。ご縁をいただいた皆さん、広報関係の皆さんに心から感謝して、お礼を申し上げます。

山本幸子さん（川北）



木戸雅子さん（河原町）

前任者の知人から「リポーターしてみない」と聞かされたとき、おもしろそうだし、やってみようかなあ」と軽い気持ちで引き受けたのが始まりでした。

いざ取材に行くとなると、何を聞けばいいのだろうかとか、どのようにならめようとか、うまく文章として伝えられるだろうかとか、ずいぶん悩みました。

でも、3回のレポートを終えた今は、快く取材を受けてくださった皆さんや、「広報見たよ」と励ましてくださった皆さん、広報関係の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、篠山のいろいろな面に興味をもち、人とのふれあいを大切に、毎日を通していききたいです。貴重な経験をさせていただき、1年間本当にありがとうございました。

リポーターのお話をいただいたとき、軽い気持ちで引き受けましたが、取材先の皆さんの熱い思いを知り、文章として伝えることの難しさを痛感しました。

しかし、広報関係の皆さんに助けていただき、1年間無事に務めることができました。篠山に住んでいながら、知らないこともたくさんありました。でも、取材を通じて、篠山で活躍されている皆さんと出会い、熱意やその姿を知ることができました。取材先で皆さんと出会いお話をうかがったこと、「広報見たよ」との地

園田舞さん（大山下）



域の皆さんからの声など、周りの皆さんからパワーをいただいた気がします。

皆さんに支えてもらいながら、1年間貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。本当にありがとうございました。

人が好き ますが好き

街かど Report リポート

この1年を振り返って

今年度お世話になったリポーターの皆さんに、1年間の思い出を話していただきました。



貴重な経験、楽しい時間をありがとうございました